

三寒四温とは今ごろのことを言うのでしょうか。陽ざしがあたたかくなってきました。晴れた日は公園に向かう子どもたちの声が弾んでいます。

ひまわり組さんが屋上で収穫した青々とした白菜。蒔く時期が遅すぎたために結球しなかったのですが、給食室で柔らかくゆでてもらい、お浸しにして味わったようです。固そうでは私は、とても食べる気にはなれませんでした。予想に反してペロッとみーんな平げたようです。自分たちがつくったものは格別の味がしたのでしょうか。

### この時期に思うこと

もうすぐ巣立ちの時を迎える年長組さんは、文集作りが佳境に入ってきました。たくさんの思い出を聞き取り文章にしていきます。なるべくその子らしさが出るものにしたいと思っています。思い出の絵もたくさん描きました。より一層豊かな表現になっていました。毎年感じるのですが、卒園を間近にした子どもたちの絵は成長が感じられます。何かの節目に人は大きく成長することを感じさせてくれます。未来に生きる子どもたちの力強さもあるのだと思います。私たちはそんな子どもたちと時間を共にできる幸せを感じています。

2月に一年を振り返る会議を持ちました。

各クラスから大切にしてきたことや次年度に引き継ぎたいことなど、子どもたちの姿を通して報告されました。

0歳クラスからは食べることに興味がなかったのに遊び込めるようになってから意欲的に食べるようになったことなど。一つのことだけに注目するのではなく多面的について見ることの大切さを確認しました。1歳クラスは仲間と“一緒に楽しい”という思いが大きく育つ時期であることがビデオを使って報告されました。これは、幼児クラスで展開される仲間との協同的活動につながるはずです。

2歳クラスからの報告は、Tちゃんが「いやいや」の時期を乗り越えることができたのは、大好きな水遊びを存分にできたことだったと振り返っていました。“好きな遊び”が心の成長に繋がっていました。3歳クラスでは鬼ごっこを通して様々な葛藤を繰り返しながら成長していく姿が報告されました。4歳クラスでは様々な活動に対話的に進めてきたことで子どもたちの主体性が発揮されました。公園の行き先を都合で担任が決めた時「なんで先生が決めちゃうの」と不満の声が出たそうです。これは自分たちが生活の主人公であるという意識の表れだと思います。もうすぐ5歳児クラスになりますが自分たちの生活をどのように進めていくのか注目していきたいと思います。

振り返りの会議は各クラスの子どもの一年間の成長を確認する場にもなりました。

各クラスの子どもの姿は園主催の保護者会でも報告したいと思います。

是非ご参加ください。

3月4日(土) 10:30~11:30

参加される方は各クラスにある出欠表にご記入下さい。

# すずらん 3月

<地域子育て情報誌> 荻窪北保育園

03-3391-5171

一時保育室 03-3391-5176

2017年3月1日

今年は暖冬でしたね。あっという間に  
桃のお節句となりました。

保育園のホールには今年も立派な八段  
飾りのお雛様が飾ってあります。

飾った事に気付いた子ども達は段の前  
にパーッと駆け寄り「うわぁ、きれい  
!!」と暫く眺め、ひな祭りの歌を皆  
で口ずさんいました。

「家は男の子だから…いいですねー」  
とお迎えの時、眺めていくお母さんも  
いらっしまいました。

## おおきくなあれ

### 3月17日(金)

10:30~11:30

身体測定・絵本・ふれあい遊び等

予約の必要はありません。お気軽に

お出かけ下さい。

### 春を待つ

春を待つ冬の野原で、花を 咲かすことは できません。

地面は、みな 雪で おおわれています。

雪の下では、花が まだひっそりと 眠っています。

その赤ん坊が、眠りから覚めるの春は、いつのことでしょう？

厳しい寒さや 吹雪きは まだ残っていますが、

あたたかい 美しい日が、

やがて、私たちのところに やってきます。

春が、野原のいたるところで 動きはじめます。

林でも 野原でも、河でも。

河は、氷の鎖を 解いて、

自然から 冷たいおおいを取り去り、

長い眠りから 花を 目覚めさせます。

赤ん坊が 顔を 覗かせて、

「春だ!」と 叫びます。



# にっこり ほっこり さくらだより

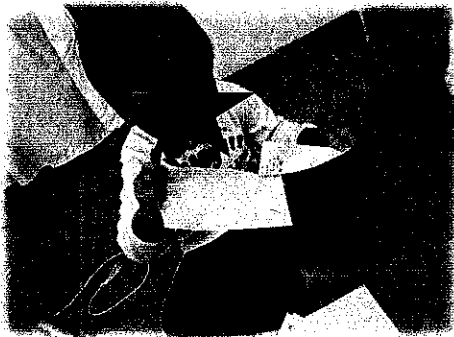
2017. 3. 1

荻窪北保育園 ひととき保育荻窪

今年度のさくらぐみも残すところ1ヶ月となりました。  
3月分のご予約はとても混雑していて、お断りすることが多く申し訳ありませんでした。来年度も引き続きよろしくお願ひします。

## ～紙ちぎり遊び～

さくらぐみでは、雨の日などお外に出られない日に紙ちぎりをして遊んでいます！  
紙は、新聞紙や広告の紙などいらぬ紙を使って、まずは子どもたちと紙を細かくちぎります。大きい子達は自分でビリビリとやぶって楽しみ、小さい子も大人が少し切れ目を入れることで、ちぎりやすくなりビリビリ～と紙がちぎれるのを楽しんでいたり、手を添えて一緒にちぎっています。



紙をちぎった後は、ちぎれた紙を雪に見立てて「ゆきだぁ！！」と上へ投げてみたり、雪合戦をしてみたり。寝っころがっているお友達にかけて、紙で埋めてみたり・・・遊び方はいろいろです。紙をちぎることで、手先の遊びにもなりますし、その後はお部屋で体も動かして遊べてとても楽しいですよ！後片付けも、洗面器やバケツを用意して子どもたちと、落ちている紙を集めたりと、2、3歳以上の子どもたちは、手伝ってくれる姿が見られています！



### ★お知らせ★

3月11日（土）は、当園の卒園式となりますので、終日お休みさせていただきます。（電話も終日つながりません。）

尚、3月10日（金）に4月10日（月）

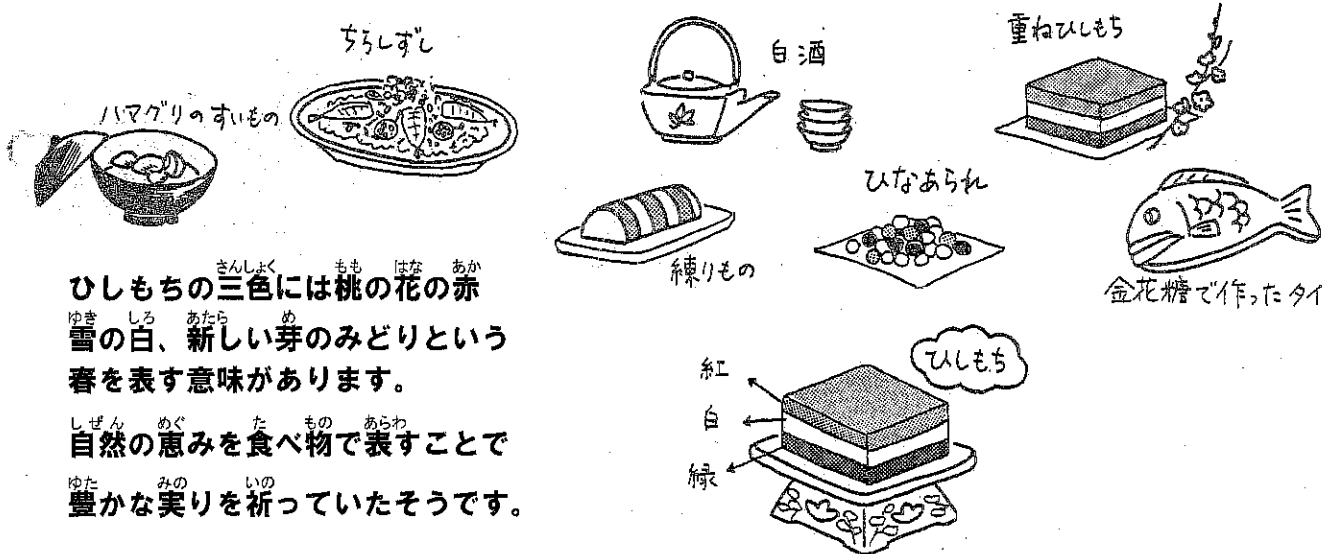
11日（火）12日（水）の予約を受け付けていますので、お間違ひのないように

お願いいたします。

今年度も残りわずかとなりました。この一年で食べる量も増え、子供達が心身共に大きく成長した姿が日々感じられます。  
 今月はひまわり組さんのリクエストメニューを取り入れました。楽しい食事時間になるといいです。

◎3月3日はひな祭りです

女の子の節句として祝われているひな祭りは、桃の節句ともよばれ、桃の花、白酒、ひしもちあられなどを飾る風習が全国に行き渡っています。



ひしもちの三色には桃の花の赤  
 雪の白、新しい芽のみどりという  
 春を表す意味があります。  
 自然の恵みを食べ物で表すことで  
 豊かな実りを祈っていたそうです。

カレー味が人気♪「豆腐のカレー煮」

＜材料＞ 大人2人、子供1人分量

- 木綿豆腐 300g
- 鶏肉スライス 80g
- 玉葱 80g
- 人参 40g
- 干し椎茸 2~3枚(戻し汁も使用)
- 隠元 20g
- なたね油 小さじ2
- 砂糖 小さじ1/2
- 酒/醤油 小さじ1/2 / 小さじ2
- 塩/カレー粉 小さじ1/5 / 小さじ1/2
- 片栗粉 小さじ1弱

＜作り方＞

- 玉葱、干し椎茸はスライス、人参は短冊切り、隠元はひと口大に切り下茹でしておく。
- 鍋になたね油を入れ、鶏肉、玉葱、人参、干し椎茸を加えて炒める。
- 干し椎茸だし汁を加え、野菜が柔らかくなるまで煮る。
- 砂糖、醤油、酒、カレー粉、塩を加えて味を整える。
- 最後に隠元を入れて片栗粉でとろみをつける。

★カレー粉はお好みで♪  
 ★野菜はきゃべつを入れても美味しいです♪

先月はすみれ組さんがおやつのおまつりもちを作りました。1人1人楽しそうに生地を好きな形に丸めてくれました。  
 おやつ時間がとても楽しみな様子で、みんなよく食べてくれました。ゆり組さんはジャムクラッカーを他クラスの分まで作ってくれたり、卒園を祝う会のメニューを考えてくれました。今年も素敵なメニューになりました。  
 楽しみにしていて下さい♪ひまわり組さんは保育園最後の給食ですね。  
 調理活動も沢山してくれました。食べることに意欲的な頼もしいひまわり組さんです。  
 お友達と楽しい食事時間を過ごして下さいね♪

## ◎おいしく、楽しく食べられるように

## ◎楽しい雰囲気の中で食事をしよう

入園からもうすぐ1年がたとうとしています。

だんだんと食の幅も広がり、嗜好も出てきて、今まで食べていたものを急に食べなくなったりする時期でもあります。またお友達に刺激されたり、美味しいね♪等の大人の声かけが食べるきっかけにもなります。

今は食べられなくても、いつか食べてくれる時期が来るとい、長い見通しを持っていけるといいですね。

保育園でも、子供達が意欲的に食事に向かうこと、楽しく食べることを大切にしています。

子どもに満足感を。



## ◎自分で食べられることが楽しい

手つまみ食べ～スプーン食べに少しずつ移行しています。

スプーンですくえると嬉しそうに食べる姿があります。自分で食べられる喜びを感じているのでしょうね。

でもまだ機能が十分でないので、子供の気持ちを大切にしながら、大人が介助してあげることが必要です。

また手つまみで食べられる形態のものも用意してあげるといいです。

保育園ではパンや野菜、芋、果物などを角切り又はスティック状にして、子供達に出しています。

角切りのものを上手に口に運ぶことが出来るようになったら、スティック状の野菜を用意してひと口量を学んでいきます。

最初はかじりとらずに全部を口に取り入れてしまうことがありますが、大人が「チョッキンしようね」などと丁寧に伝えていきながら、子供達も上手にひと口量を食べることが出来るようになります。

またこの手つまみ食べがスプーンで食べることにも繋がっていきます。

ご家庭でも手つまみ食べを充分に経験して、食べる意欲に繋がっていきけるといいですね。